

事務事業名		内水排除整備事業			会計	一般会計				
					事業種別	政策	開始	12	終了	
課等名		地域計画課		係等名	調査計画係					
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり						
		施策	41	災害対策の推進						
目的	対象(誰・何を)	松尾地区の水害が想定される区域の市民の生命と財産(昭和58年9月10号台風での浸水被害面積57.5ha 床上)			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	天竜川へ流れ込む河川周辺を、洪水時の内水増加による浸水から排水ポンプにより未然に防止する排水ポンプ操作員の技能確立と排水稼働までの準備				過去に被災した土地(ha)			57.5	
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が災害にそなえている割合(%)				過去に被災した土地にある家屋等(戸)			153	
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	排水ポンプ整備により排水される水量(m3/分)			90	90	90	90		
	成果指標	排水操作までに要する時間(分)			20	20	18	18		
	定性目標									
事業概要	<p>天竜川が増水し、松尾地区から天竜川へ流出する河川(祝井沢川、金色洞沢川)の水位を上回った場合、逆流を防ぐためにひ門が閉鎖される。これにより、地区内河川の流出先がなくなるため、排水ポンプを操作し天竜川へ内水を排除する。</p> <p>平成12年度から、排水ポンプ車を順次導入し、さらに職員、地元(竜水開発組合)、地元業者による内水排除体制を確立している。災害時に適切な対応ができるよう、操作員の技量向上、機器の整備を行っている。</p> <p>1号車 ブーム付き排水ポンプ車(平成12年度導入 30m3/分)→平成23年度 排水ポンプ設備(30m3/分)更新、積載型トラッククレーン購入</p> <p>2号車 クレーン付き排水ポンプ車(平成12年度導入 30m3/分)</p> <p>3号機 排水ポンプ設備(平成15年度配備 30m3/分)</p>									
事業内容					名称			活動指標		
24年度事業内容	1 災害時の内水排除対応(待機を含む)				1 災害時対応(稼働)			1 0回		
	2 排水訓練の実施(年間3回 4、5、7月)				災害時対応(待機)			0回		
	3 毎月のポンプ車等定期点検の実施(年間12回)				2 訓練回数			2 3回		
	4 排水ポンプ等の点検(10~11月)と車輛・機器の法定点検				3 点検実施回数			3 12回		
	5 天竜川上流河川事務所、飯田建設事務所との連携				4 法定点検回数			4 1回		
				5 連携回数			5 1回			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		45,388	2,120	2,083	1,729	(国)地域活性化・きめ細かな臨時交付金(10/10) 22→23繰越明許費 45,000千円				
国庫支出金		40,000								
県支出金										
起債										
その他		3,797								
一般財源		1,591	2,120	2,083	1,729					
人件費計(千円)②		0		1,788						
正規職員所要時間				500						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		45,388	2,120	3,871	1,729					
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>出動すべき事態がなかった。</p> <p>関係機関や地域と協働で実施している訓練によって、従事者の操作方法習得に努め目標を達成することができた。</p> <p>平成23年度に更新した機器により作業性は向上したが、引き続き操作方法の習得に努める。</p>									
改革改善の考え方	①問題点	職員については継続した訓練により習熟度は高まっているが、地域の関係者は交代等があるため、訓練の継続が必要である。								
	②改革提案	いつでも稼働できる体制を維持していく上で、機材の点検、修繕、更新の充実を図る必要があるが、経年により更新等を計画的に実施していく必要がある。従事者の訓練等については、操作方法の習得に向けて継続して行う。								